

わり算の筆算(2)②

4年 組 番

めあて：3けた ÷ 2けた（商が十の位からたつ）のわり算の筆算ができる。

名前 _____



わり算では、わられる数とわる数を同じ数でわっても商はかわらないね。

② 250 ÷ 50 と商が等しい式になるように、□にあてはまる数を書きましょう。

㊦ 25 ÷ □ = 5

㊧ □ = 2500 ÷ 500

㊨ 500 ÷ □ = 100

㊩ □ = 1000 ÷ 200

① 下の計算を筆算でしましょう。

数をよく見て、商をたてる位を決めることが大事だね。

① 927 ÷ 43

$$\begin{array}{r} 21 \\ 43 \overline{) 927} \\ \underline{86} \\ 67 \\ \underline{43} \\ 24 \end{array}$$

② 724 ÷ 29

$$\begin{array}{r} 24 \\ 29 \overline{) 724} \\ \underline{58} \\ 144 \\ \underline{116} \\ 28 \end{array}$$

③ 395 ÷ 35

$$\begin{array}{r} 11 \\ 35 \overline{) 395} \\ \underline{35} \\ 45 \\ \underline{35} \\ 10 \end{array}$$

④ 463 ÷ 14

$$\begin{array}{r} 33 \\ 14 \overline{) 463} \\ \underline{42} \\ 43 \\ \underline{42} \\ 1 \end{array}$$

⑤ 956 ÷ 46

$$\begin{array}{r} 20 \\ 46 \overline{) 956} \\ \underline{92} \\ 36 \end{array}$$

⑥ 613 ÷ 57

$$\begin{array}{r} 10 \\ 57 \overline{) 613} \\ \underline{57} \\ 43 \end{array}$$

⑦ 423 ÷ 14

$$\begin{array}{r} 30 \\ 14 \overline{) 423} \\ \underline{42} \\ 3 \end{array}$$

⑧ 680 ÷ 34

$$\begin{array}{r} 20 \\ 34 \overline{) 680} \\ \underline{68} \\ 0 \end{array}$$

⑨ 842 ÷ 278

$$\begin{array}{r} 3 \\ 278 \overline{) 842} \\ \underline{834} \\ 8 \end{array}$$

わり算のせいしつを使うと、0を同じ数ずつ消してから計算できるね。

③ わり算のきまりを使って、くふうして計算しましょう。

① 240 ÷ 60

$$\begin{array}{r} 4 \\ 60 \overline{) 240} \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$

② 6500 ÷ 500

$$\begin{array}{r} 13 \\ 500 \overline{) 6500} \\ \underline{5} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

③ 2900 ÷ 400

$$\begin{array}{r} 7 \\ 400 \overline{) 2900} \\ \underline{28} \\ 100 \end{array}$$

④ 下の問題に答えましょう。

① 950本のえん筆を1ダース（12本）ずつ箱につめていきます。何箱できて何本あまりますか。

式 $950 \div 12 = 79 \text{ あまり } 2$ 答え $79 \text{ 箱できて } 2 \text{ 本あまる}$

② ある数を63でわったら、商が16で、あまりが2になりました。ある数はいくつですか。ある数を□とした式に表して、答えを求めましょう。

式 $\square \div 63 = 16 \text{ あまり } 2$
 $63 \times 16 + 2 = 1010$ 答え 1010